第 2.0 版（2026 年 6 月 30 日作成）

NCNP ブレインバンクに寄託された方のご遺族へ

この度、NCNP ブレインバンクに寄託された剖検組織の一部について、他の研究機関で実施される下記研究に対し提供を行います。本研究では、国が定めた倫理指針に基づき、対象となる方お一人ずつから直接同意を得るかわりに、利用目的等を含む研究の実施についての情報を公開することが必要とされています。

この研究課題に対し試料やそれに付随する診療情報等を利用することにより、ご遺族の方に新たな負担や制限が加わることは一切ございませんが、利用・提供して欲しくない場合は、問い合わせ窓口までご連絡ください。なお、利用・提供して欲しくないことを申し出られても、なんら不利益を受けることはございません。

1. 対象となる方

2009 年 4 月より 2020 年 8 月までの間に、国立精神・神経医療研究センター病院で病理解剖され、剖検検体の保管および研究使用に関して同意された方。病理診断によりアルツハイマー病と診断された方、及びそのコントロール（比較対象）となり得る方

2. 試料情報の提供を行う者の機関名・所属・氏名

機関名：国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター
所属・氏名： 病院臨床検査部・高尾昌樹

3. 試料情報を提供を行う研究課題名と研究代表者又は研究責任者

研究課題名：『新規アルツハイマー病治療剤開発のためのマウスモデル作製および薬効評価』
研究期間：研究開始日～2027年 3 月 31 日まで
研究代表者(研究責任者)：エーザイ株式会社 福嶋 達人
国立精神・神経医療研究センター病院臨床検査部 研究責任者 高尾昌樹

4. 利用又は提供する試料・情報等と取得方法について

試料：剖検脳組織
(取得方法)剖検時にご遺族の同意のもとに取得
情報：付随する情報（年齢、性別、死後時間、診断名、病理解析結果など）
(取得方法) 診療録から入手

5. 試料・情報の利用目的及び利用方法

本研究では、より人の臨床像に近い AD 病態を再現する疾患モデルとして、AD 脳組織から調製したタンパク質画分をマウス脳に注入して凝集タンパク質の沈着を引き起こすモデルマウスを作製し、このモデルマウスを利用して AD 治療薬の候補化合物の薬効評価を行います。

この研究は、エーザイ株式会社との契約に基づいて行われる共同研究で、試料およびそれに付随

する情報がエーザイ株式会社に提供されます。研究の費用はエーザイ株式会社が負担します。本研究の利益相反につきましては、NCNP 利益相反マネジメント委員会に開示され、適切に管理されています。

6. 利用又は提供を開始する予定日

研究開始日を予定しています。

7. 問い合わせ窓口

この研究課題の詳細についてお知りになりたい方は、下記問い合わせ担当者までお問い合わせください。

国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター NCNP ブレインバンク
氏名 髙尾昌樹
電話番号 042-341-2711（代表）